

地域で支える家庭教育推進事業
参加型学習による家庭教育支援研修会
つながる広場「かごスマイル」

1 趣 旨

子育てや家庭教育についての講義、ワークショップ、グループ協議を通して、家庭教育への関わり方について考え、家庭教育のより一層の充実を図るとともに、県民みんなで家庭教育を支援する気運の醸成に資する。

2 主 催

鹿児島県教育委員会

3 日 時

令和8年2月8日（日）午後1時～午後3時45分

4 場 所

県立図書館 第1, 2, 3研修室
(鹿児島市城山町7-1 TEL099-224-9511)

5 対象者

- 保育園・幼稚園・認定こども園、小・中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の保護者とその子供
- 学校職員、行政職員等、家庭教育支援に携わる方

6 日 程

受 付	1 2 : 3 0 ~ 1 3 : 0 0	(30)
(1) 開会行事<第1研修室>	1 3 : 0 0 ~ 1 3 : 1 0	(10)
(2) 講義・演習<第1研修室> 「親子であそぼう！」	1 3 : 1 0 ~ 1 3 : 3 0	(20)
講師 地域生活支援センター あさひが丘 センター長 水流 かおる 氏 < 休憩・移動 >	1 3 : 3 0 ~ 1 3 : 4 5	(15)
(3) ワークショップ<第3研修室>	1 3 : 4 5 ~ 1 4 : 0 5	(20)
ア 「読書活動コース」テーマ「読んで、聞いてお話の時間」 講師 県立図書館職員 絵本の読み聞かせ、しおりづくり、折り紙等		
イ 「創作活動コース」テーマ「作って、遊んで」 講師 県立青少年研修センター職員 創作活動、室内レクリエーション等 < 休憩・移動 >	1 4 : 0 5 ~ 1 4 : 1 5	(10)
※ 子供たちは、そのままワークショップ会場で活動を続ける。		
※ 大人は、第1研修室に移動して講義とグループ協議		
(4) 講義<第1研修室> 「ペアレント・プログラムから学ぶ子育てのヒント」 講師 地域生活支援センター あさひが丘 センター長 水流 かおる 氏	1 4 : 1 5 ~ 1 5 : 0 0	(45)
(5) しゃべり場「ほっと サロン」	1 5 : 0 0 ~ 1 5 : 4 0	(40)
(6) 閉会行事	1 5 : 4 0 ~ 1 5 : 4 5	(5)

7 募集人員
60 人程度

8 申込期間
令和8年1月22日（木）まで

9 申込方法
(1) 団体申込みの場合

県のホームページから所定の申込用紙様式をダウンロード。
参加者氏名（子どもは学年）等を記入し、メールかFAXで提出。

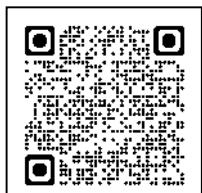
(2) 個人申込みの場合

申込フォームによる申込み
申込みフォームから直接申し込み

<個人用申込フォーム>



<団体申込みの様式>



<県ホームページ>

10 問合せ及び申込先
鹿児島県教育庁社会教育課社会教育係
電話：099-286-5339
FAX：099-286-5673
メール：ed-youth@pref.kagoshima.lg.jp

11 その他

- (1) 本研修会は、家庭教育への関わり方について考え、家庭教育のより一層の充実を図るとともに、県民みんなで家庭教育を支援する気運の醸成に資することを目的としているので、研修の一環としてPTA、家庭教育学級、おやじの会や子ども会等各種社会教育関係団体のグループでの参加もできる。
- (2) ワークショップがあるので、動きやすい服装で参加する。また、材料代が必要なものもあるので、できるだけ釣り銭のないように準備する。
- (3) 状況によっては、内容を変更したり、中止にしたりする場合がある。中止の場合、参加者へ直接電話で連絡する。団体へは「団体代表者」に連絡する。
- (4) 氏名・電話番号等については、個人情報保護の観点で、本事業に関する事に限り使用するとともに、適正に管理する。
- (5) 本研修会の活動風景の写真等を広報等で使用することがある。
- (6) 参加にあって配慮や支援が必要な場合は、相談に応じる。
- (7) 駐車場については、県立図書館の駐車場を利用することができます。利用の際は、本研修会に来たことを伝え、係の指示に従い駐車する。

<自動車・バイク・自転車を御利用の方>
(県立図書館のホームページより)

当館正門よりも南側（市立美術館側）にある1つの路地を進入していただきますと、車輌出入口があります。

なお、自動車・バイクを御利用の方で、国道10号下り線から来館される場合は、「市立美術館前」信号を右折してください。ただし、鹿児島近代文学館・メルヘン館～鹿児島県歴史・美術センター黎明館の間は、道幅が狭くなりますので、歩行者や対向車には十分御注意ください。